

(切り取り線) くないに切り取ること。

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

数学A オモテ

学校名

答案番号



絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合

組：03 出席番号：07

生徒記入欄			
組	出席番号	性別	
		男	女
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

解答欄はウラにもあります。

1

(1)

(2)

(3)

(4) °C

2

(1)

(2)

(3)

(4)

3

(1)

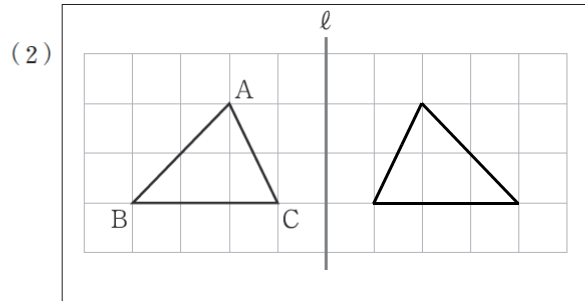
(2)

(3)

(4)

4

(1)



(3)

絶対に汚さないこと。

数学A ウラ

解答欄はオモテにもあります。

5

(1) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

(2) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

(3) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

(4) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

6

(1) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

(2) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

(3) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

7

①	$\triangle ABC = \triangle DBC$
②	$AD \parallel BC$

8

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

9

(1) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

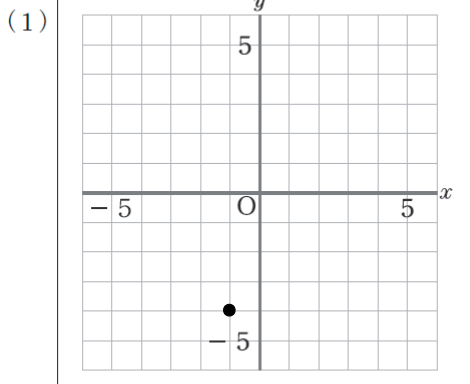
(2) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

10

(1) 4

(2) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

11



(2) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

12

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

13

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

14

(1) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

(2) $\frac{1}{3}$

15

(1) Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

(2) 4

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

数学B オモテ

学校名

答案番号

絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合

組：03 出席番号：07

生徒記入欄			
組	出席番号	性別	
		男	女
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

解答欄はウラにもあります。

1

(1) A B C D E

(2) A B

説明

(例) 軌道の長さの差を計算する過程で、 r の項がなくなるので、軌道の長さの差は、地球の半径の値に関係なく決まる。

(2) (例) 連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる。

3

(1) 20 回

(2) A B ← 選んだ選手の記号を塗りつぶさない。

説明

(例) 原田選手の記録の方が船木選手の記録より130m以上の階級の累積度数が大きいので、原田選手の方が次の1回でより遠くへ飛びそうな選手である。だから、原田選手を選ぶ。

2

(1) 連続する3つの自然数のうち、最も小さい数を n とすると、連続する3つの自然数は、 $n, n+1, n+2$ と表される。

したがって、連続する3つの自然数の和は、

$$n + (n + 1) + (n + 2) = (\text{例}) 3(n + 1)$$

$n + 1$ は自然数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数である。したがって、連続する3つの自然数の和は、3の倍数である。

絶対に汚さないこと。

数学B ウラ

解答欄はオモテにもあります。

4

(1) 点 B

(2) 証明

△QAPと△QBPにおいて、

(例)

手順①より、
AP = BP①

手順②より、
QA = QB②

共通な辺は等しいので、
PQ = PQ③

①, ②, ③より、
3組の辺がそれぞれ等しいから、
△QAP ≡ △QBP

合同な三角形の対応する角は等しいから、
∠APQ = ∠BPQ
∠APQ + ∠BPQ = ∠APB = 180° なので、
∠APQ = ∠BPQ = 90°
したがって、PQ ⊥ ℓ

(3)

5

(1) 9.5 m

(2)

(3) (例) 二等辺三角形の性質を用いて、
AEの長さをCEの長さに置き換える。

6

(1) 30 度

(2) ① 正多角形の1つの外角の大きさ

② 正多角形の頂点の数

(3)

説明

(例) 正多角形の外角の和は360°で一定であり、1つの外角の大きさは全て等しいので、 x と y の関係を式で表すと、
 $y = \frac{360}{x}$ となる。この式は、 $y = \frac{a}{x}$ の形をしているので、 y は x に反比例する。